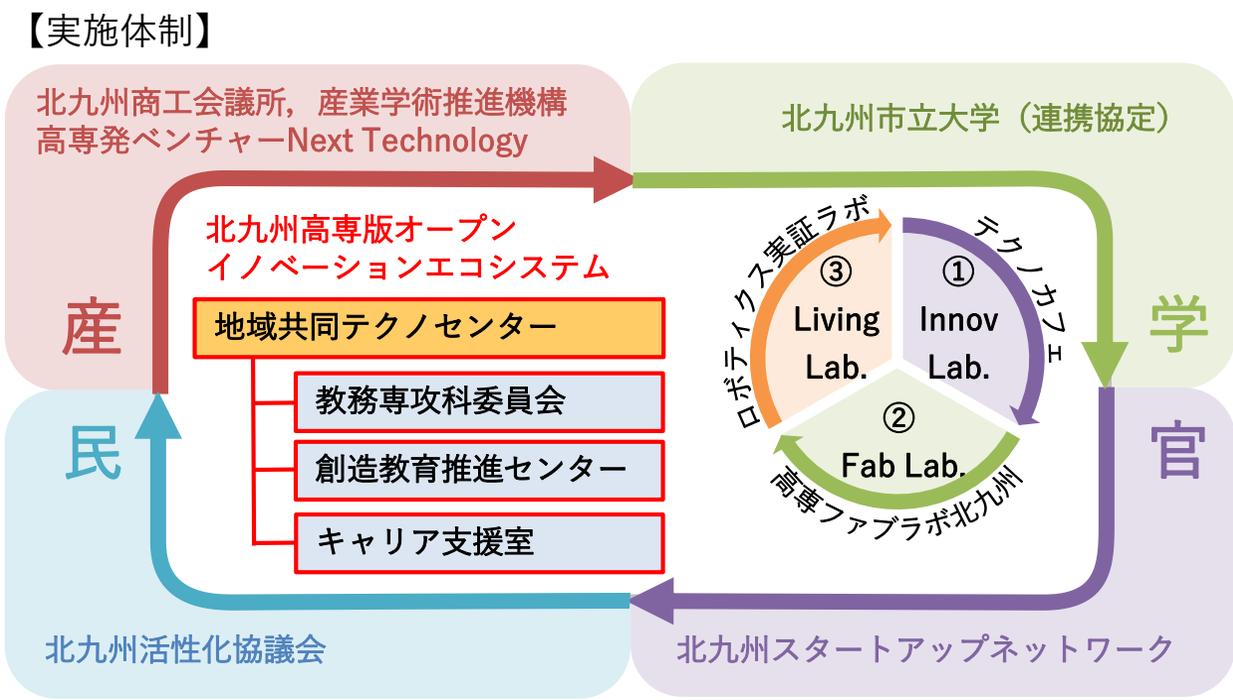


**取組目的・内容**

北九州高専のロボット関連技術リソースをベースとしたオープンイノベーションを推進するためのエコシステムを構築する。具体的には以下を整備することにより，地域との共同教育により**学生・教員のアントレプレナーシップを醸成**する。

- ①**イノベーションラボ機能**：産学官民の垣根を越え対話からイノベーションの種を探求する場「**テクノカフェ**」
- ②**ファブラボ機能**：ロボット技術をベースに，試作を作りイノベーションを生み出す場「**高専ファブラボ北九州**」
- ③**リビングラボ機能**：実環境下で仮説検証を繰り返しながらサービスを共創する社会実験場「**ロボティクス実証ラボ**」



**【工程表】**

H30年 7～9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>テクノカフェの開催</li> <li>アイデアソン・ハッカソンの運営</li> <li>企業との共同製品開発開始</li> </ul>
H30年 10～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロボティクス実証ラボ設立</li> <li>課題解決型インターンシップ実施</li> <li>ベンチャースクールの実施</li> </ul>
H31年 1～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>テクノカフェの開催</li> <li>企業との共同製品開発について 展示会・発表会の開催</li> </ul>
H31年 4月～	<ul style="list-style-type: none"> <li>イノベーションセンター（仮称） を設立・運用</li> </ul>

- 【成果指標】**
- 共同製品開発の事例：0件（H29）→ 1件（H30）
  - テクノカフェの開催：0件（H29）→ 12件（H30）
  - 高専ファブラボ北九州の外部利用：4件（H29）→ 24件（H30）
  - ロボティクス実証ラボの外部利用：0件（H29）→ 3件（H30）

- 【第4期中期目標期間への展開（見込み）】**
- エコシステムを運用するためのイノベーションセンター（仮称）を設立し継続したアントレプレナーシップ育成を行う。
  - 地域課題と社会実装を設定したカリキュラムを全学年で整備し充実を図る。
  - 共同製品開発の事例を毎年1件以上継続する。また，これらの活動を通じてベンチャー企業創出へと繋げる。